

令和 6 年度 大津市介護人材確保対策事業

1 おおつ介護人材確保総合補助金

- (1) 介護人材確保事業補助金
- (2) 就職支援給付金
- (3) 介護職キャリアアップ促進給付金

1 介護人材確保事業補助金

介護サービス事業所等が新たに人材を確保するために取り組む経費の一部を補助します。

- 【補助対象者】 介護サービス事業所等を運営する法人
- 【補助基準額】 上限額 100,000 円（1 法人 1 回限り）
- 【事業例】 チラシ等に情報を掲載した広告宣伝費、就職情報 Web サイトを利用するための手数料、就職説明会開催の会場使用料など
- 【申請期限】 令和 7 年 2 月 28 日（金）

※令和 6 年 4 月 1 日以降の事業（領収書等で確認できるものに限る。）を対象とします。



2 就職支援給付金

新たな担い手の確保を目的として、介護サービス事業所等に就職された方に対し、就労継続奨励金を支給し、その後一定期間定着していただいた方に対し、就労定着支援金を支給します。

- 【補助対象者】 令和 5 年 9 月 1 日から令和 6 年 8 月 31 日までに、市内の介護サービス事業所等に新たに採用され、勤務を開始した方（過去にこの給付金をもらった方を除く）
- 【給付基準額】 ①就労継続奨励金 月 10,000 円／1 人（上限 6 月）
②就労定着支援金 就労継続奨励金と同額／1 人（最大 60,000 円）
- 【申請期限】 令和 6 年 12 月 27 日（金）



3 介護職キャリアアップ促進給付金

市内の介護サービス事業所等で働きながら介護福祉士の資格を取得し、資格取得後も有資格者として、継続勤務している職員への報償として給付金を支給します。

- 【補助対象者】 介護サービス事業所等に勤務しながら、第 36 回（令和 5 年度）介護福祉士国家試験に合格し、資格登録日以降、継続して 6 か月就労している方
- 【給付基準額】 30,000 円／1 人
- 【申請期限】 令和 7 年 3 月 31 日（月）

※介護福祉士の資格登録後、6 か月就労してから申請できます。



大津市や国・県の介護人材の情報を提供しています。



2 おおつ介護に関する入門的研修、現地見学会、介護職員との交流会

(1) 基礎講座＋入門講座 計2回／年

介護に関する知識や介護の業務に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶ研修として、基礎講座（3時間）及び入門講座（18時間）を実施します。

■第1回

No.	日時	場所	内容	講師
1	9月10日（火） 10:00～14:30	ふれあいプラザ 中会議室	開講式 介護に関する基礎研修 介護の基本	介護福祉士 中村 秀樹 氏
2	9月12日（木） 9:00～17:00	ふれあいプラザ 視聴覚室	基本的な介護の方法	介護福祉士 清水 幸子 氏 中村 秀樹 氏
3	9月18日（水） 9:00～17:00	ふれあいプラザ 視聴覚室	基本的な介護の方法 認知症の理解	介護福祉士 清水 幸子 氏 松田 博子 氏
4	9月25日（水） 10:00～12:00	ふれあいプラザ 視聴覚室	障害の理解	介護福祉士 松岡 啓太 氏
【新規】5	9月25日（水） 14:00～16:00	唐崎・晴嵐デイサービス	現地見学会	各デイサービスの職員
6	9月28日（土） 9:30～12:00	市民文化会館 ホール	介護における安全確保 修了式	介護福祉士 中村 秀樹 氏
【新規】7	9月28日（土） 13:00～14:00	市民文化会館 会議室	介護職員との交流会	介護事業者
8	9月28日（土） 13:30～16:00	市民文化会館 ホール	職場説明会 （県介護・福祉人材センター主催、大津市共催）	県介護・福祉人材センター・介護事業者

■第2回

No.	日時	場所	内容	講師
1	12月5日（木） 10:00～14:30	ふれあいプラザ 視聴覚室	開講式 介護に関する基礎研修 介護の基本	介護福祉士 中村 秀樹 氏
2	12月9日（月） 9:00～17:00	ふれあいプラザ 視聴覚室	基本的な介護の方法	介護福祉士 清水 幸子 氏 中村 秀樹 氏
3	12月12日（木） 9:00～17:00	ふれあいプラザ 視聴覚室	基本的な介護の方法 認知症の理解	介護福祉士 清水 幸子 氏 松田 博子 氏
4	12月16日（月） 10:00～12:00	ふれあいプラザ 視聴覚室	障害の理解	介護福祉士 松岡 啓太 氏
【新規】5	12月16日（月） 14:00～16:00	唐崎・晴嵐デイサービス	現地見学会	各デイサービスの職員
6	12月20日（金） 13:30～16:00	ふれあいプラザ 中会議室	介護における安全確保 修了式	介護福祉士 中村 秀樹 氏
【新規】7	12月20日（金） 16:00～17:00	ふれあいプラザ 視聴覚室	介護職員との交流会	介護事業者

(2) 現地見学会

①実施する介護事業所等の介護サービスや介護職員の仕事の説明

②介護職員が仕事をしているところの見学

③介護現場のイメージアップにつながるような内容

(例：介護ロボットによる介護者の負担軽減、介護職員からの介護の仕事の「魅力」、労働条件や職場環境の紹介など)

(3) 介護職員との交流会～匠から介護現場を学ぶ～

①参加者 入門的研修の受講生（一般参加も可）

介護職員 3～5名程度

②定員 20～30名程度

③内容 全体（約20分）

- ・各事業者の自己紹介
- ・知ってて得する介護の技
- ・認知症の方への上手な対応

グループ単位（介護職員と参加者数名）（約15分×2回）

- ・普段している介護の仕事の紹介
- ・職場の雰囲気、労働環境や条件
- ・参加者からの介護や介護の仕事に対する疑問への回答

まとめ（約10分）

- ・介護の仕事の魅力ややりがい、介護職員になったきっかけの紹介
- ・職場説明会につなぐ（1回目）
- ・参加した介護事業者との個別相談につなぐ（2回目）

3 業務改善等コーディネーター派遣事業

介護人材の確保や定着促進に資することを目的に、介護サービス事業所が抱える課題とその解決に向けたプロセスを整理し、生産性向上に取り組む事業所を支援します。

<支援項目>

- ・労務管理（就業規則、賃金体系、人事考課、労働時間 等）
- ・法令実務（雇用契約、コンプライアンス 等）
- ・職員育成（研修計画、リーダー育成 等）
- ・職場環境（魅力ある職場づくり、ハラスメント防止、マネジメント 等）
- ・経営改善（経営の効率化・安定化 等）
- ・ICT（ICTの導入、利活用 等）
- ・処遇改善加算（キャリアパスの作成 等）
- ・BCP（業務継続計画の策定 等）
- ・制度活用（助成金・補助金制度の活用 等）
- ・その他 業務の効率化が見込まれる項目

今後の予定

- ・ 8月 コーディネーターの派遣を希望する事業所の募集
- ・ 9月 派遣する事業所の決定（7事業所）、事業所との支援内容の調整
- ・ 10月～2月 事業所へコーディネーター派遣（1事業所につき3回まで）

4 おおつ介護事業所オンラインセミナー

働きやすい職場づくりや介護職員の資質向上により、職員の職場定着と離職防止を図るため、人材育成や業務改善のヒントなど業務に役立つテーマを選び、オンラインセミナーを実施します。

LIVE配信 4回 動画配信 2回 計6回（1回90分間程度）

今後の予定

- ・ 9月 セミナー内容の調整、講師の依頼
- ・ 10月～3月 セミナーの実施

5 おおつ介護フェスタ2024

介護の仕事に対する理解、魅力発信、就職相談ができる場として、介護及び介護職に対する関心が高められるよう、広く市民に情報発信することを目的に「おおつ介護フェスタ」を開催します。

イベント名：優しさヒカル 笑顔ヒカル ケア光ル～おおつ介護フェスタ2024～

日時：令和6年11月16日（土）10時～15時

場所：ブランチ大津京 ブランチさんかく広場

主催：おおつ介護フェスタ実行委員会

（構成団体／滋賀県老人福祉施設協議会大津ブロック、滋賀県介護老人保健施設協会、大津市介護サービス事業者協議会、大津市社会福祉協議会、大津商工会議所、大津市）

【第1回】

- ・ ステージとブースの構成
- ・ ステージでは、介護職員のトークショー、太鼓などのパフォーマンス
- ・ ブースでは、介護事業者による体験コーナー、地元商工会・商店街の飲食コーナー、高校・大学生による企画コーナーなど
- ・ 介護川柳、フォトコンの募集、表彰、展示
- ・ 介護事業所の紹介コーナー

今後の予定

- ・ 7月 第2回 事業概要（計画）・予算案の決定
- ・ 9月 第3回 詳細な企画内容の決定
- ・ 10月 第4回 当日の役割分担の調整

- ・11月 第5回 準備・当日運営の確認
- ・11月16日 フェスタ開催（11月15日 前日準備）
- ・1月 第6回 実施報告・決算、事業の評価

6 介護事業者による出前講座（中学編・高校編）

（1）大津商業高校



期日：令和6年6月17日（月）

時間：5・6校時

場所：大津商業高校教室他

学年：3年生（約20名・総合ビジネス科）

講師：特別養護老人ホーム長等の里

内容：介護体験授業

今回の出前講座は、介護ツアーを企画する生徒の皆さんを対象に実施しました。介護ツアーを企画実施するにあたり、どのような点に気を付けて、どのように高齢者をサポートするかを、生徒自身が体験しながら学びました。今後、9月に介護ツアーの行き先を決定し、11月に高齢者と一緒に介護ツアーを実施されます。

授業の流れ

1 講話（15分間）



●「長等の里」とはどんな所？

高齢者を介護する施設です。

地域とのつながりは大切であると考え、積極的に地域に出向いて、地域活動に取り組んでいます。

●高齢者の特徴について

年をとると、視力・聴力・筋力・記憶力など、様々なところが衰えてきます。でもサポートしてあげることによって、普段の生活ができたり、今回の介護ツアーのように旅行に連れて行ってあげたりすることができます。

2 体験してみよう（25分間×2種類）

・高齢者疑似体験



・車椅子体験



3 グループワーク（10分間）



- ・グループごとに、それぞれの体験で「自分が介助側をした感想」、「自分が高齢者側をした感想」や全体の感想、また、今後実施予定の介護ツアーで実践しようと思うことなどを話し合いました。

4 発表（5分間）

自分が介助側をした感想

- ・高齢者の腰が曲がっていたので支えるのが難しく、歩くスピードなど苦戦した
- ・砂利道は車椅子を押すことが難しかった
- ・どこに段差があるかなど、気を付けることは注意深く確認して漏れがないようにしたいと思った
- ・聴力が低下しているのでいつもより大きな声を出さなければいけないと思った
- ・高齢者は動くスピードが遅いので、自分もゆっくりと動いてあげることが大切だと思った
- ・少しの段差でも車椅子をあげることは怖かった

自分が高齢者側をした感想

- ・杖をついている状況では前が見えず、手すりや階段が見えにくく、声をかけてあげて安心させてあげることが大事だと思った
- ・車椅子で段差を降りることが怖かった
- ・階段の上り下りの終わりがわからなくて、声掛けが重要だと感じた
- ・段差の部分を車椅子で上がるのは怖かった

先生からのアドバイス

高齢者も介助される側として不安や怖さがある。今日教えてもらったことを生かしてサポートすることが大事。介護ツアーに向けて、高齢者が満足するサービスを提供してほしい。



5 振り返り・まとめ（10分間）

体験で学んでいただきましたが、本当に**声掛けはとても大事**で、そこをおろそかにしてしまうと高齢者と遠い関係になってしまいます。

年齢を重ねると誰でも衰えてきます。高校生の皆さんも、いつかは衰えてきます。日本はこれからさらに高齢化ばかりの社会になっていきます。高齢者を支える介護人材も少なくなっています。将来、皆さんが社会に出たときに、介護の仕事をしていなくても、高齢者と関

わることは絶対にあります。家族を介護することもあります。高齢者にならないと、高齢者の気持ちはわからないかもしれませんが、どういう思いでおられるのか、どこに不安を持たれているのか、**高齢者に寄り添うことは誰にでもできるので、今日の体験を生かしてほしい**と思います。



高齢者のできない部分を補ってあげれば、自分でできることは自分でされます。私たちは、食事や排せつの介助だけでなく、気持ちの面でもサポートしています。生きがいとされていることをサポートすることも、大事な仕事だと思っています。

皆さんが企画されている介護ツアーも、参加される高齢者の生きがいとなっていると思います。高齢者の方が衰えたからできないのではなく、**サポートしてあげれば、できるこ**

とがたくさんあります。これも「介護の仕事」です。

できないことを**補うこと**だけでなく、**よいところを伸ばすことも大事**にしています。介助するときに、何でもやってしまうことがあります。できることは自分自身でしていただくようアプローチすることも大切です。

介護の仕事をしたきっかけ

25年前に介護保険が始まりました。日本で介護が当たり前になってきました。これから介護の担い手が必要になる、人の役に立ちたいと思い、専門学校で学び、介護職となりました。実際、仕事は大変ですが、**「介護の仕事」は人と関わる仕事で、高齢者の皆さんからはいつも「ありがとう」と感謝されます。**本当にうれしく思います。

生活面や気持ちの面でもサポートできた時には、**ありがとうと笑顔で言ってもらえ、また明日から頑張ろう**と思います。私も20年間、介護の仕事をしていて、**この仕事を誇り**に思っています。

新しい介護職員が思う「介護の仕事」

皆さんの1つ上の学年の方が長等の里に勤務されています。その職員に介護の仕事のやりがいを知ると、**「やりがいしかない」**と答えました。その理由を知ると、高齢者の方で、サポートしないと何もできない方もおられ、介護職員は食事やトイレの介助をしています。**私自身がやっていることは、その高齢者の役に立つこと全てであり、自分の存在が、その方が生きるための全てであり、「やりがいではない」と**言いました。

まとめ

皆さんの周りや地域には、高齢者だけでなく、障がい者、妊娠した方、赤ちゃんなど、生活にハンデを抱えている方がおられます。皆さんは不自由なく過ごされていると思いますが、そのような方々はサポートが必要です。そのような困っている人がいたら気づいてあげてください、そして、助けてあげてください。皆さんがサポートする人になってくれば、とてもあたたかい地域になると思います。皆さんが企画している介護ツアーも、高齢者をサポートする、高齢者の生きがいにつながる、とても素晴らしいものだと思います。無事に成功して、参加される高齢者の方が楽しく過ごされることのために今回の出前講座を生かしてもらいたいと思います。

受講生アンケート結果

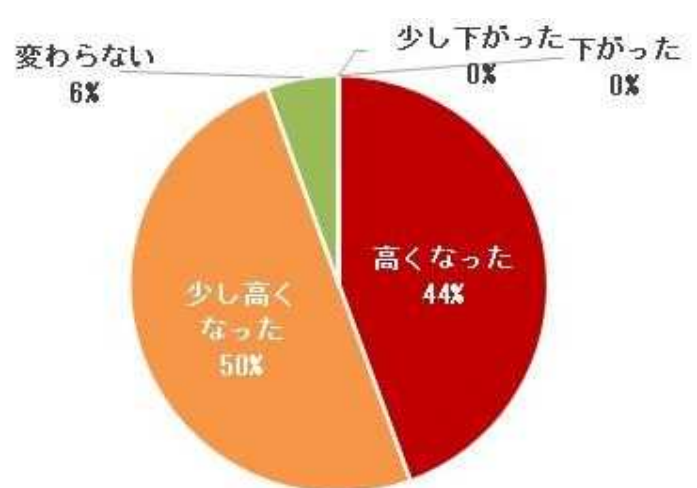
受講前

「介護の仕事」への興味・関心

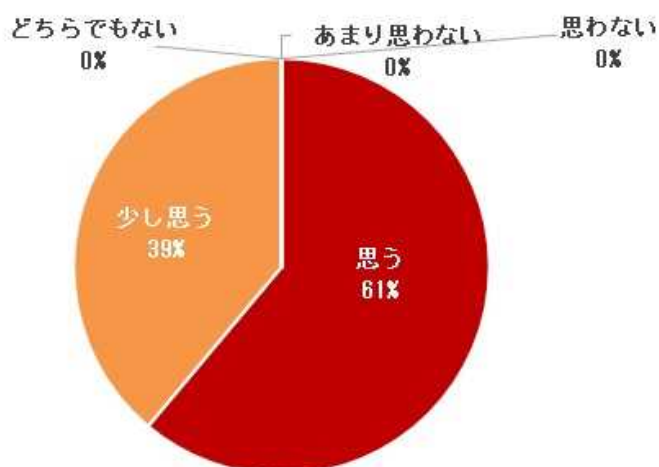


受講後

「介護の仕事」への興味・関心の変化

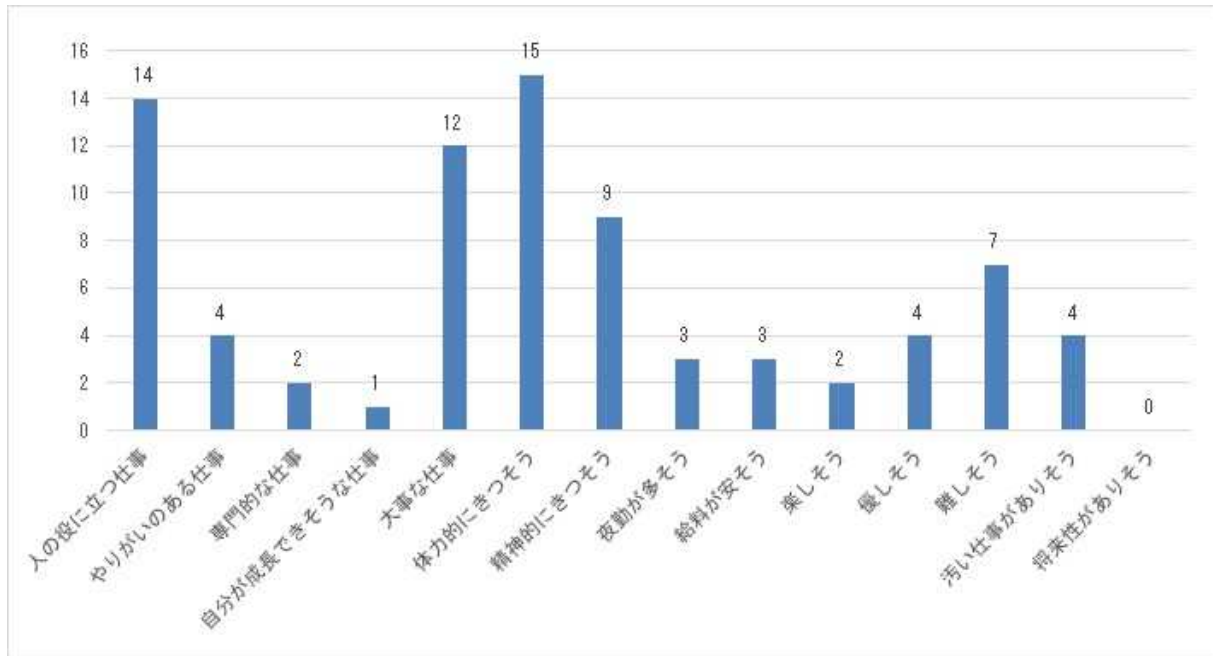


出前講座は「介護の仕事」に興味・関心を持つことにつながると思うか



高校生が思っている「介護の仕事」のイメージ

今回の出前講座を受講した高校生に、「介護の仕事」のイメージを聞いたところ、「体力的にきつそう」、「人の役に立つ仕事」、「大事な仕事」の順に多い回答となりました。（複数回答）



高校生から介護職員の皆さんへのメッセージ

- ・素晴らしい職業だと知りました。頑張ってください
- ・講座を受けて今までより高齢者の方に関心が持てるようになりました
- ・たくさん大変なことがあると思いますが、がんばってください
- ・介護について教えてくれたおかげで将来不安なことが少し減った気がします。ありがとうございました
- ・たいへんなこともあると思いますががんばってください
- ・すごく大変な仕事だとわかりました
- ・これからもFightです
- ・体力がとてもある。精神力がある
- ・大変な事も多いと思いますが、頑張ってください
- ・すごく大事な仕事だと知った
- ・大変なこともあると思いますが、頑張ってください
- ・大変だと思うけど、頑張って下さい
- ・頑張ってください
- ・確かにやりがいが多い仕事だと思いました
- ・がんばってください
- ・尊敬します
- ・頑張ってください

(2) 石山中学校



石山中学校
出前講座動画

当日の進行

介護職員による講義【いくつかの事例について、1～4の流れで実施】

- 1 講師が施設に入所している高齢者役と施設の職員役になり、いくつかの事例をもとに演じる
- 2 事例のような高齢者の方に、どのように対応すればよいと思うか、グループに分かれて話し合う
- 3 グループの代表者が、話し合った内容で、実際に高齢者の方のサポートを行う
- 4 講師によるコメント

【事例】まじめで曲がったことが大嫌い。怒りっぽい性格。甘いものが大好き。食後はまんじゅうを食べ、コーヒーを飲むのが日課の87歳のおじいさん。さっきご飯を食べたのに、またご飯がほしいと言っている。

【事例】趣味は畑作業や花を植えること。きれい好きでいつも掃除をしている、汚れているのが嫌いな88歳のおばあさん。トイレに何回も行きたいと言って、連れて行ってくれる人を探している。

【事例】数年前に失明となり、夫婦二人の生活が困難になった。施設に入所されたばかりで頑固な性格だが妻には優しい79歳のおじいさん。楽しみにしているテレビ番組があるのに、「夜だからもう寝よう」と職員に言われた。

【事例】一人暮らしをしていたが、外出すると家に帰れなくなり警察に保護されることが増え、施設に入所した83歳のおばあさん。おしゃれとお話が大好き。ペットの犬が待つ自宅に帰りたくて、施設から出ようとしている。

グループに分かれて話し合う様子



いくつかのグループに分かれて、講師に「こんなおじいさんやおばあさんがいた時に、みんなやったらどうする？」と問いかけられ、生徒たちはその場面を想像しながら、グループで対応策を考えました。

対応策を考えるときには、それぞれの高齢者の性格や趣味、好物などの情報を生かしていました。

高齢者（介護職員）をサポートする生徒の姿



高齢者役の職員に声をかける場面では、姿勢を低くして視線を合わせて話をするなど、**生徒たちから高齢者に寄り添う姿**が見られました。

講師からは、**高齢者と視線を合わせて話をする**ことはとても大切と、自然にそのようなことができる生徒の皆さんは素晴らしいと伝えられていました。

「否定せず共感することや笑顔で接することも大切。目が見えない方に触れるときは声をかけてから」など、講師からのアドバイスを受け、生徒たちはさまざまなかわり方を実践していました。

当日の様子



生徒からのお礼と介護職員から生徒へのメッセージ



お礼の言葉

代表の生徒から、「お話を聞いていろいろな人とのかかわり方を学びました。今日学んだことは9月の**職場体験**だけではなく、**今後の生活にいかしていきたい。**」とお礼の言葉が送られました。

メッセージ

地域に高齢者の方がたくさんおられます。もし、**地域で困っている高齢者を見かけたら、「大丈夫?」「何かお手伝いしましょうか?」と声をかけてあげてください。**「おはようございます」「こんにちは」と挨拶をするだけでもいいです。生徒の皆さんの若いパワーで高齢者の方を元気づけてあげてください。

介護の仕事は、たくさん的高齢者の方と出会えて、その方々の生活をサポートできるという**本当にやりがいのある仕事**です。将来、皆さんも仕事に就かれると思いますが、**介護の仕事もあったな**と思い出してくれることを願っています。今日の講座を受講して、福祉に興味を持った、介護っておもしろそう、やってみたい、おじいちゃんやおばあちゃんと話してみたいと思ったら、千寿の郷にぜひ遊びに来てくださいと伝えられて、講義を終えられました。

受講生アンケート結果

受講前

「介護の仕事」への興味・関心



受講後

「介護の仕事」への興味・関心の変化



出前講座は「介護の仕事」に興味・関心を持つことにつながると思うか



中学生が思っている「介護の仕事」のイメージ

今回の出前講座を受講した中学生に、「介護の仕事」のイメージを聞いたところ、「人の役に立つ仕事」、「体力的にきつそう」、「精神的にきつそう」、「難しそう」の順に高い割合の回答となりました。（複数回答）

